

ほうじん しょうがいしゃ しょくほさんか かい だいひょうり じ すずきみさお
NPO法人 障害者の職場参加をすすめる会(代表理事 鈴木操)
さいたまけんこしがやしひがしこしがや すがびる
埼玉県越谷市東越谷1-1-7須賀ビル101 Tel・Fax 048-964-1819 職場参加ビューロー世一緒内
E-mail shokuba@deluxe.ocn.ne.jp HP <http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/>

共に働く街を創るつどい2012

ピアサポートによる障害者就労支援

その可能性と環境

日 時：2012年12月9日(日) 13:00~16:30 (12:30開場)

会 場：越谷市中央市民会館4階第16~18会議室

参加費：600円(会員外 会員：500円)

レポート 越谷でのピアサポートによる障害者就労支援

清水 賢吉さん(世一緒ファシリテーター)

パネルディスカッション

パネラー：

飛田 まりさん(ピア不在の職場で働く障害者)

塚原 雄大さん(社内の相談や実習者フォローをしている障害者)

鎌倉 賢哉さん(NPO法人越谷らるご事務長)

永野 勝さん(越谷市職員組合委員長)

日吉 孝子さん(世一緒ファシリテーター)

金沢 雄三さん(ミノミ化学株式会社社長)

コーディネーター：朝日 雅也さん(埼玉県立大学保健医療福祉学部教授)

コメンテーター 藤岡 廣明さん(埼玉県就業支援課主幹)

高橋 成人さん(越谷市障害福祉課課長)

なぜいまピアサポートなのか？働くとは常に他者との共同作業。だがその共同が競争や差別をはらみ、人を孤立、排除に追いやってはいないか？だからこそ、立場を同じくする者同士がつながる。ピアサポートは社会的ハンディをもつ人々の取組みが始められているが、事業主を含む他の人々にとっても重要なヒントとならないか。そして、働く人々のピアサポートの元祖・労働組合のいまは？

障害の有無をこえて誰もがピアとなる街をめざして。

主催：特定非営利活動法人障害者の職場参加をすすめる会

〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷1-1-7須賀ビル 職場参加ビューロー世一緒

048-964-1819 (TEL&FAX) e-mail: shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

誰もがピアとして共に働き共に生きる街を探ろう

共に働く街を創るつどい2012

2012.12.9

長期不況の下、障害者に限らず雇用・就労をめぐる情勢は厳しさを増しています。さまざまな対策が講じられてきたにもかかわらず、非正規労働と生活困窮者は増え続けています。

障害者・高齢者をはじめ、さまざまな就労困難者への支援が強化されてきましたが、社会状況の深刻さに加え、自分を無力で無価値な存在でしかないといい知らされた本人の状況の深刻さが、支援が必ずしも生きてこない要因になっていると考えます。

当会では発足以来ピアサポートによる障害者就労支援をめざし、特に2005年以降、越谷市から運営を委託された障害者就労支援センターと本部事業の拠点である職場参加ビューロー世一緒において、さまざまな試みを続けてきました。当会のピアサポートは、1) 気軽に立ち寄って話せる 2) 共に働いたり動きながら考え合える 3) さまざまな障害当事者や家族・関係者に相談できる という三要素を基本として取り組んでいます。

具体的な取り組みが8年目を迎えたいま、これまでをふりかえりつつ、多角的な検証を加えたいと考えています。

他の地域、異なる状況で、ピアサポートによる障害者就労支援をどう考えられるか、障害者ではない就労困難者にとってのピアサポートは、また職場の同僚、事業者にとってピアサポートとは、さらにピアサポートを活かせる環境とは などを考えてみたいと思います。

ピアとはいってもなく同じ立場を共有する仲間という意味ですが、当会のめざすところは、異なる立場の人々同士が互いに出会い、せめぎあう職場や地域を共有しながらやがてピアになってゆくことです。その意味で、障害者のピアから出発しながらも、障害のない人々を含むピアの展望を考えて行きたいと思います。

関係機関、団体の方々や関心ある市民の皆様のご参加・ご協力を、切にお願い申し上げます。

プログラム

開会	13:00
来賓挨拶：越谷市長・高橋 努さん	
第1部：「越谷におけるピアサポートによる就労支援」	13:10
清水 賢吉さん（世一緒ファシリテーター）	
第2部：パネル討論	
「ピアサポートによる障害者就労支援—その可能性と環境」	13:45
パネラー：	
飛田 まりさん（ピア不在の職場で働く障害者）	
塚原 雄大さん（社内の相談や実習者フォローをしている障害者）	
鎌倉 賢哉さん（NPO 法人越谷らるご事務長）	
永野 勝さん（越谷市職員組合委員長）	
日吉 孝子さん（世一緒ファシリテーター）	
金沢 雄三さん（ミノミ化学株式会社社長）	
コーディネーター：朝日雅也さん（埼玉県立大学保健医療福祉学部教授）	
コメンテーター：藤岡 廣明さん（埼玉県就業支援課主幹）	
高橋 成人さん（越谷市障害福祉課課長）	
休憩	15:00
パネル討論後半	15:10
質疑応答	
コメント・まとめ	16:00
自治体提言読み上げ	16:20
閉会	16:30

高齢化進む街で共に働くことを考える

協同まつり in こしがや

蒲生東町・日の出商店街で



さる10月20日(土)越谷市蒲生東町の日の出商店街(左の写真)と東町自治会館(右の写真)で、協同まつり in こしがやというイベントが開催されました。もともとは11月17、18日に埼玉で開かれたいま、「協同」を創る全国集会のプレイベントを地域でやらないかと、全国集会の事務局も務めるワーカーズコープセンター事業団よりお誘いを受けたことがきっかけです。その実行委員会の初めての準備会がワーカーズコレクティブ越谷エリアのキッチンとまと(日の出商店街内)で行われたことから、ひょうたんから駒のように会場や企画イメージが決まりました。実行委員会にはやさいたま高齢協、ふくし生協さいたまや越谷市民ネットワーク、さいたまNPOセンター、わらじの会などが参加しました。東町自治会や商店街のみなさん、地元市議等多方面のご協力で開催することができました。

この地は1970年代半ばに南越谷・新越谷両駅ができる前にそれまで田んぼで家がなかったところが一挙に開発されてできました。新住民のパワーで商店街を中心にまつりに自治会活動に、大人も子どもも総出で地域を盛り立ててきたそうです。やがて子どもたちが成人し、独立して別の土地に出て行き、現在は高齢者が多数を占める地域になり、商店街も半分は閉じています。

実行委員会に参加する団体・個人は高齢や育児・家事、障害、貧困などさまざまな原因で企業社会で働くことを阻まれながら、地域のつながりの中で仕事づくりを試みてきた人が多くいます。この協同まつりを通し、あらためて活動を見直し、より多くの人とつながるべく取り組みました。

当日は、子ども店長、もちつき大会、映画上映や物品販売など、にぎやかに行われました。

蒲生日の出商店街のイベントに参加して

世一緒スタッフ 木下 義彰

僕はあの商店街があることを知らなかった。初めて行った時日の出商店街のお店が閉まって、あいてる所がポチンポチンでした。こんな所があると思わなかった。会議でいろいろな人と話したが、なかなか意見がまとまらないで、何をやっていいのかわからなかった。でもやってみたら沢山のお客さんが来てくれました。僕はぶあくの店にお父さんといました。蒲生東町自治会館の前でんにくとか売りました。沢山来てくれました。僕はいろいろなことを決めるのが難しかった。あれからどうなってるのか、行くことがあれば行ってみたい。親切にしてもらった八百屋さんにも、また会ってみたいと思います。

職場・地域

ひろがりつうしん

地域適応支援事業がスタート



毎年恒例の職場体験実習が始まりました（写真は昨年の実習報告：障害福祉サービス事業所しらこぼと作成）。この実習は必ずしも就労を前提としないものですが、年々就労の準備として参加する人も増えており、この実習をステップとして民間企業へ就労する人もいます。

また今年度からは、就労を踏まえた実習を企業に受け入れていただき、すでにその企業に就労した人もいます。

実習にご興味がある方は越谷市障害者就労支援センターにご相談ください。

高3生対象夏休みセミナー 仕事体験～お給料をもらおう～

越谷市障害者就労支援センターでは8月に高3生を対象にセミナーを行いました。10名が参加し「高校はちがうけど、小、中が一緒でした」とお互いなつかしい顔にも会えたようです。前半は会場を会社に見立て、職場での事務補助の作業を体験し、模擬硬貨を給料として支給。その硬貨で売ったり買ったりを体験し、お金の流れをみんなで確認しました。

後半は学校での出来事や部活動の話、それぞれの学校行事の話題で盛り上がりました。職員からは働いている先輩が、支援センターをどのように利用しているかを紹介しました。

越谷市民まつりに出店



10月21日（日）協同まつりの翌日は市民まつりにいつものように出店しました。ふれあいの日とちがって、障害者団体の出店は向かい側の聴覚障害者協会のわたあめ、焼きそばや、しらこぼとのパン、ほかにかもっこ芽吹きの家くらい。他の施設、団体ももっと参加できると思います。

障害者の店・ぶあくの協力を得て、リサイクル品や新品のおもちゃそして有機野菜などを世一緒のスタッフたちがにぎやかに販売しました。

いろいろな方がお店にお顔を見せて下さいました。ありがとうございました。

職リハ研究発表会で報告



11月27日、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の主催で職業リハビリテーション研究発表会が開催されました。第3分科会「共生社会を目指して」で「ピアサポートによる障害者就労支援」と題し、当会山下事務局長が主に世一緒での取組みについて報告しました。

ごあいさつ

普通に暮らしています

世一緒スタッフ 内藤 雄介

私の名前は内藤雄介です。私の家族は母と兄の3人で暮らしています。

私は越谷で生まれ、越谷で長い間暮らしています。私は世一緒で週一回当番の仕事をしています。

主に当番の仕事は、内や外のそうじをしたり、接客の準備などを行っています。あとはチラシの整理などもししています。

そのほかにグループアルバイトでポスティングや水上公園の作業などもやっています。

ポスティングではいろいろな家にチラシを入れたり、水上公園では花を植えたり、草取りをしたりしています。

あとは希望の里の草とりなどもやっています。

私は家の中では普段通り家で普通に暮らしています。時々家事なども毎日やっています。

主に読書をしたりテレビなどを見たりねることもやっています。

毎日外に出て買い物などもやっています。

いつかは就職先もしくはアルバイトなどが見つかるようにねがっています。

デイケアに通いながら仕事も

世一緒スタッフ 青木 繁明

世一緒へ来て3、4年たちました。その間、いろいろ有りました。水上公園での仕事それから東越谷一丁目から二丁目のポスティング、月曜、金曜は仕事があれば、お願いしてきました。今もあ

まり変わっていません

私は精神科の診察は月二回の先生との話し合いがあります。何か、変わったことは有りませんが、睡眠はとれていますか。食欲はありますか。等。だいたい普段と変わりませんと答えています。デイケアは、週三回、火、水、金曜日です。矢部先生、前の先生ですが、週二回は、最低二回は、出て欲しいとの事です。

私もそれにそった線で行こうと思います。

今年から、月曜日に世一緒へ来る様になり、仕事のスケジュールがわかり、朝が10時までなので、とても気楽に、こられるようになりました。十月に水上公園の仕事、花壇の花植へ、春、夏、秋毎年ありますので、体を動かすので、ボケ症をなすのいいです。

あちこち通っています

世一緒スタッフ 亀井 恵子

私は今、世一緒でしごと情報(求人広告)を月曜日、語る会(第3水曜日)に参加しています。

それとこぼと館にある、(あいあい茶ろん)第1第3火曜日。

有朋、第1月曜日、全体ミーティング、第4おしゃべりくらぶ、イベントに参加しています。

新越谷の生徳は、週3回通っています。

パン作りをしたり、英語を勉強したり、色ぬりえに参加しています。その他にも、第2第4に病院に通ったり、ジムで運動しています。

あいあい茶ろんは、歌を歌ったり、かき氷を作ったり、レクリエーションをしたり、さんぽに行ったりしています。

しらこぼと公園で、草取りをしたり、花をうえたりをした。越谷就労支えんセンターには、ガイダンスとセミナーをしています。

七ヶ月たちました

世一緒スタッフ 小川 武

私は、名前は、小川 武です。

私は、世一緒に来たのは、今年の四月中旬頃障害者生活支援センター苞担当の人と来ました。

最初は自分自身、どうなるか、分からなかったけど、ここに来てもう七ヶ月になりますが、少しずついろんな人と付き合い始めています。

世一緒でステップを踏みながら、次に行きたいと思えます。

どこまで頑張れるか分かりません。

大阪で就職します

世一緒サポーター 濱野 知佳

私は毎週月曜日にサポーターとしてスタッフの皆さんと活動しています。月曜日の活動は、まず午前中に求人広告チェック会で週の求人チェックします。

午後は仕事発見ミッションでは職場の見学、体験を求めて、また同時に世一緒の存在を知ってもらうために職場に突撃訪問しています。冷たくあしらわれることもありませんが、めげずに頑張っています。

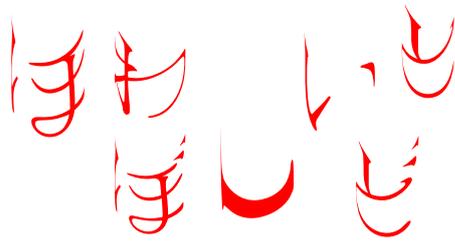
さて、仕事つながりで、私事ですが来年4月から大阪での就職が決まりました。

全く知らない場所に飛び込んでいくことに不安2割、ワクワクとドキドキが8割といった感じです。

ということで、皆と活動できるのもあと4ヶ月ほど。スタッフの皆と共にたくさんのお話を吸収し、学

びながら楽しくやっていければいいと思います。





当会の事業インフォメーションあれこれページ。(左の絵は「Mr. Children」は兵庫県の多賀健太郎さんからいただきました。)

▷本部事業

●世一緒に「ピアサポート研究会」が発足しました

サポーターとして、月曜日と水曜日の週2回、世一緒に通っています。担当しているのは、『仕事発見ミッション』(月曜日と水曜日の午後実施)と『求人広告チェック会』(月曜日の午前に実施)ですが、しらこぼと水上公園の花壇整備やポスティング作業などのグループワークに参加したり、4～5人のメンバーと一緒に県庁にある障害者団体の売店・かっぱに出かけて行って移動販売(月1回)を手伝ったりと、世一緒にのさまざまな活動に関わっています。

サポーターという仕事や役割がどういうものなのか、実のところあまりよくわかっていません。今年の4月から『ピアサポート研究会』という新しい会合が毎週第4水曜日に実施され、参加者ひとりひとりが世一緒にどのような思いを持って通っているのか、就労をどのように考えているのか、病気や仕事探しの相談相手はいるのかといったことを話し合っていますが、毎回部屋の片隅で耳を傾けているうちに、サポーターとしての自分の仕事や役割の輪郭が少しだけですがはっきりしてきたような気もしてきました。

どうもサポーターの役割を考える前に、障害者個々の置かれている立場や先行き、障害の内容、障害者支援の制度と問題点などにもっと興味を持ち、きちんと認識する必要があるようです。そういうことを知る上で『ピアサポート研究会』はたいへん役立っているわけで、もっと参加者が増えてくれることを願っています。(直井)

▷委託事業(越谷市障害者就労支援センター)

職員の数が限られ、職場や関係機関へ訪問することも多いため、予めお電話をいただき、調整させていただければ、十分な時間をかけたお話ができます。特に下記のガイダンス、セミナーは事前に電話等でご連絡をお願いします。

●就労支援センターガイダンスが、12月7日(金)、1月10日(木)、2月12日(火)(いずれも10:00~12:00)、セミナーが、12月17日(月)、1月16日(水)、2月18日(月)(いずれも13:00~16:00)に開かれます

ガイダンスでは、個別相談だけでは十分にお伝えしきれないセンターのさまざまな活用方法について、わかりやすくご説明します。そのときどきの旬の情報もお知らせします。

疑問・質問にもお答えしますので、何度でもご参加ください。

セミナーは、毎月テーマを決めて、ワークショップ形式で行います。

会場はいずれも原則、産業雇用支援センター4階です。

●2012年度の地域適応支援事業

実習参加者、支援パートナー、受け入れ職場担当者が一堂に会する中間報告交流会を12月6日(木)に開催します。

事業がすべて終了した後に昨年度から公開で行っている報告交流会は3月26日(火)開催の予定です。



当会の目的

この法人は、地域の事業所、福祉施設、学校、在宅障害者と家族、市民に対して障害者の職場参加活動を啓蒙、普及、促進する事業を行い、障害者の多様な働きかたの実現をめざし、労働と福祉の障壁の解消を図るとともに、共に育ちあい、働きあい、暮らしあうまちづくりを通して、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。(定款第3条)

当会の事業

- ・特定非営利活動に係る事業
- ・職場参加の基盤形成のための支援事業
- ・福祉施設等の職場参加に関する協力関係の促進を図る事業
- ・障害者の就労・生活支援のための資料収集と情報提供に関する事業
- ・啓蒙と地域の輪を広げるための勉強会等を開催する事業
- ・国、自治体に対して施策を提言する事業
- ・協力事業所の開拓に関する事業 (定款第5条)

会員募集

障害者の職場参加をすすめる会では趣旨に御賛同いただける方を常時募集しています。

正会員

年会費 3,000円

賛助会員

個人年会費 3,000円

団体年会費 5,000円